

石油・天然ガス開発や権益確保に資する技術開発等の促進事業

資源エネルギー庁資源・燃料部
石油・天然ガス課

令和5年度予算額

84 億円 (64 億円)

事業の内容

事業目的

独立行政法人工エネルギー・金属鉱物資源機構（以下「JOGMEC」）による技術支援等を通じ、我が国の企業によるエネルギー資源の開発を促進し、エネルギー資源の安定供給の維持・強化に資するものとします。
特に、昨今のロシアによるウクライナ侵略など新たにエネルギー安全保障上のリスクが顕在化していることを踏まえ、エネルギー源の多様化とエネルギー供給源の多角化への貢献を目指します。

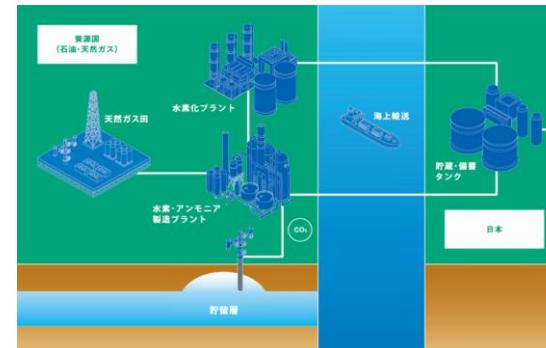
事業概要

エネルギー源の多様化及び供給源の多角化を実現するため、非在来型の石油・天然ガス開発、水素、アンモニア製造や二酸化炭素圧入による石油の回収量の向上等に資する技術支援を実施します。
また、我が国の資源開発に係る産業競争力を強化するため、AIやビッグデータ等のDX化技術を活用した探鉱の効率化や操業コストの削減に資する技術支援を実施します。
さらに、資源国政府等との関係を強化するため、JOGMECが培った技術を活用して資源国の技術者等を対象に研修事業を行います。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

国 → 交付金

独立行政法人工エネルギー・金属鉱物資源機構
(JOGMEC)



脱炭素燃料・技術の例（イメージ）

成果目標

エネルギー資源の開発促進を目的とした技術支援を通じて、令和12年度までに技術開発成果をエネルギー資源開発事業へ50件適用します。